

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	157	2年	後期	看護学科	必修	臨床病態学Ⅱ(共通) Clinical Pathophysiology Ⅱ	30	1
担当教員								
脇坂 浩之	竹内 一人	草薙 康城						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療従事者として、実際の現場において、医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるようになるために、成人に特徴的な各種の疾患について、医療に携わるうえで必須な臨床医学の知識を獲得し、疾患の病態生理、診断法、治療法、予後が説明できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
	①腎疾患、乳癌、代謝疾患、内分泌疾患、運動器疾患の病態生理と診断法について説明できる。							
	②腎疾患、乳癌、代謝疾患、内分泌疾患、運動器疾患の治療法と予後について説明できる。							
	③感染症、膠原病、アレルギー疾患、血液・造血器疾患の病態生理と診断法について説明できる。							
	④感染症、膠原病、アレルギー疾患、血液・造血器疾患の治療法と予後について説明できる。							
	⑤子宮付属器に発生する良性腫瘍や悪性腫瘍の病態生理・診断・治療法について説明できる。							
	⑥性感染症の病態生理・診断法・治療法について説明できる。							
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	腎疾患：腎疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之							
2回	乳癌：乳癌の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之							
3回	代謝疾患：脂質異常症、高尿酸血症の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之							
4回	内分泌疾患（1）：甲状腺疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之							

5回	内分泌疾患（2）：副腎疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之						
6回	運動器疾患（1）：骨折の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之						
7回	運動器疾患（2）：骨・関節の炎症性疾患、変性疾患等の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之						
8回	感染症：感染症の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：竹内 一人						
9回	膠原病：膠原病の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：竹内 一人						
10回	アレルギー疾患：アレルギー疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：竹内 一人						
11回	血液・造血器疾患：血液・造血器疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：竹内 一人						
12回	子宮頸部疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：草薙 康城						
13回	子宮体部疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：草薙 康城						
14回	付属器疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：草薙 康城						
15回	性感感染症と子宮内膜症の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：草薙 康城						
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし合計60点以上を合格とする（脇坂担当分野50点、竹内担当分野25点、草薙担当分野25点）。							
教科書	浅野嘉延、吉山直樹編「看護のための臨床病態学」（南山堂）						
参考図書等	「看護学テキストNiCE 病態と治療編」（南江堂）						
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）							
参考図書やプリントを用いた予習・復習（計1時間）が必須							
関連科目							
前科目	144 人体の構造・機能Ⅰ	145 人体の構造・機能Ⅱ	146 人体の構造・機能Ⅲ				
後科目	241 看護アセスメントⅡ	242 看護アセスメントⅢ					
実務家教員							
医師（医療機関）	脇坂 浩之	竹内 一人	草薙 康城				
備考	授業前中に配布するプリント等を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください。						